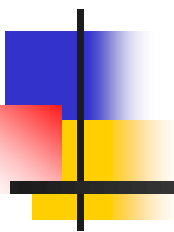


社会系(地理歴史) 教科指導法



第13-14講 授業を評価する
—授業を外在的・内在的に改善する—

授業づくりの多様なアプローチを 何を基準に選ぶのか



制度・政策の必要

- なにを教えることが求められているか？
- どのくらいの期間に、どの程度扱わなければならないか？



社会の必要

- 民主的な国家・社会の発展には、なにが求められるか？
- どんな資質・能力を、どんな見方・考え方が求められるか？



子どもの必要

- 目の前の子どもたちの成長には、なにが求められるか？
- どのような支援が、どのような指導と学びが求められるか？

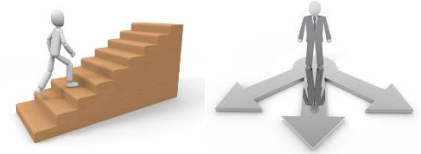
授業づくりの多様なアプローチを 何を基準に選ぶのか

1. どんな市民を, どんな学力を育てたいか

(1) (科学的)分析...実証主義と授業づくり

社会の改良には, **社会の仕組みに関する正しい知識と誤りや失敗を受け入れる知的な謙虚さ**が必要。教室は, 社会の分析から得られた知識に基づいて常識を疑い, 一人ひとりの判断と選択を支援していく場とするべき

→ A: **学説を基盤とした教材研究**



(2) (社会的)議論...構成主義と授業づくり

社会の形成には, **異質な他者と対話し, 新しい社会の仕組みを作っていく能動的な姿勢**が必要。教室は, 社会と同じく根拠に基づいて主張を交わし, 私たちが折り合うことができるルールや合意を構成していく場とするべき

→ B: **教材を基盤にした教材研究**



授業づくりの多様なアプローチを 何を基準に選ぶのか

2. 子どもの学びがどのような状況にあるか

(1) 子どもがMQに回答できそう...

子どもに既知の理論・解釈を引き出し、
それをもっと**批判的に修正・変革**させよう！

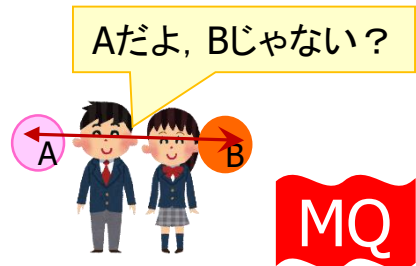
→ A: **学説を基盤とした教材研究**



(2) 子どもがMQで揉めそう・割れそう...

子どもの多様な理論・解釈を引き出し、
それをもっと**協働的に調整・再構成**させよう！

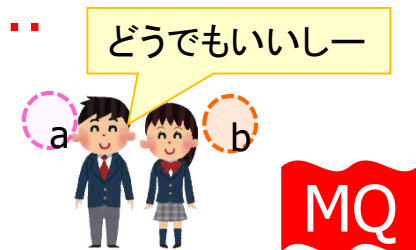
→ B: **教材を基盤とした教材研究**



(3) 子どもがMQの意味を理解できなそう...

子どもの素朴な理論・解釈を引き出し、
それをもっと**反省的に意味づけ**させよう

→ C: **体験を基盤とした教材研究**





予習課題

予習課題。資料を読んで、2-5分の映像に表現しなさい。

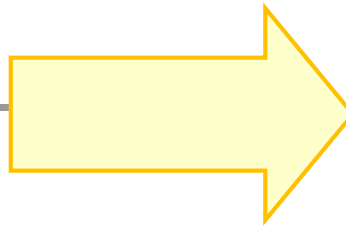
所定ドライブにアップロード→ 7/29 締切

「かがみやま映像フェスティバル」ノミネート作品

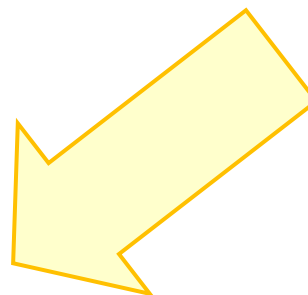
- (1) **三本松**小学校の実践...左
- (2) **棚橋**先生が提案する実践...中左
- (3) **岩下**先生, **桑原**先生の意見...中右
- (4) **谷**先生の提案...右



三本松小学校
(指導案1)



棚橋 健治
(指導案2)



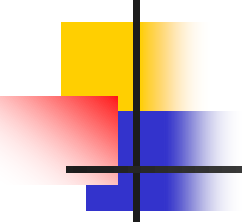
桑原 敏典
(分析1)



岩下 修
(分析2)



谷 和樹
(シミュレーション案)



4部門へのノミネート作品から, TAと草原
で優秀賞を選定しました。

受賞作品を報告します。そのあと, 受賞
作品を皆で視聴します。

(1) 三本松部門

(2) 棚橋部門

(3) 岩下・桑原部門

(4) 谷部門



演習課題1

作品を視聴し，以下の問いに答えよう。

- (1) **棚橋先生**は，三本松小学校のオリジナル授業をどのように，なぜ改善したか
- (2) **桑原先生と岩下先生**では，なぜ棚橋の改善案の評価が異なるのか
- (3) **谷先生**は，棚橋改善案を，どのように，なぜ改善したか
- (4) 授業研究の**成功のカギ**は何だろう？

授業改善の事実―指導案1から2へ―

向良神社

祭神 向山周慶・関良介

祭日 七月十四日・十五日

神社の由来

今から二百年ばかり昔、向山周慶と関良介の二人は三十年にあまる年月と幾多の苦勞の結果立派な白糖をつくつた。そのため高松藩はもちろん讃岐の人々は大変恩恵をうけた。

後面名の功勞をたたえて、向山周慶の「向」と関良介の「良」を合わせて、「砂糖の神様、向良神」として玉藻城内にお祀りした。

明治十八年この地は戦災で焼失したので、三十二年に本殿、





和三盆糖

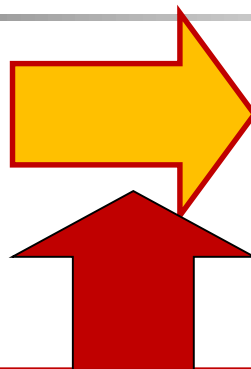
綺麗でかわいのお干菓子、
優しい口どけは、
思わず口元がほころぶ
幸せな味。
二百年の伝統を守り、
職人の手で大切に
仕上げられた讃岐の技、
それが和三盆です。



ゼノキ・棉・サトウキビ・茶などの工芸作物と商品加工に有利な60種品目を紹介

授業改善の事実—シミュレーションへ—

自給自足の
社会

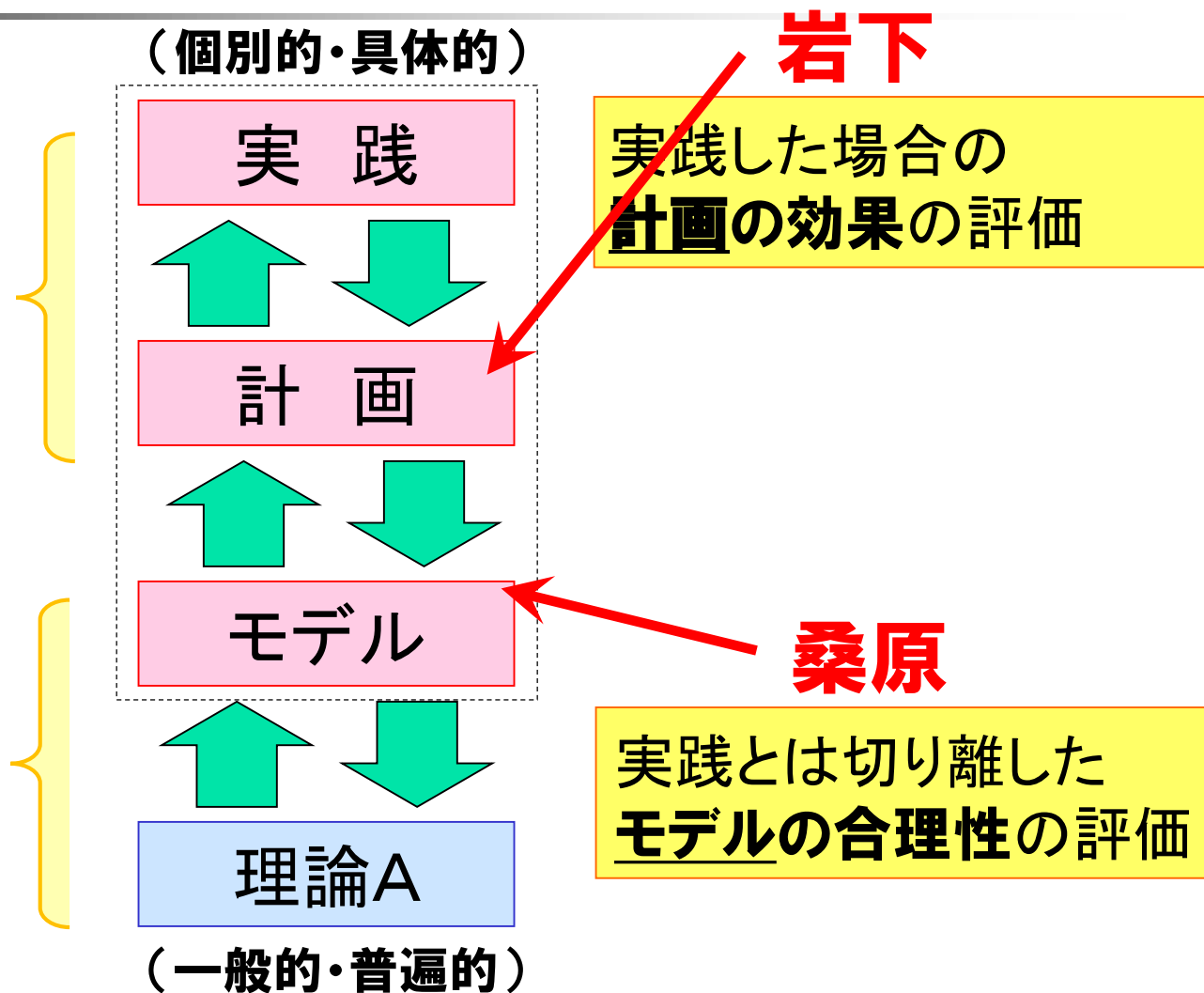


お金で売り買いする
社会

なぜならば



I 授業改善の対象と基準



II 授業改善の方法・手続きー棚橋の場合ー

1. 目標は、態度・生き方の育成から、思考力の育成に重点を転換する

- 社会科固有の学力は**知的好奇心＋社会認識**の形成

2. 内容は、人物の努力・偉業から、時代の構造・変化に差し替える

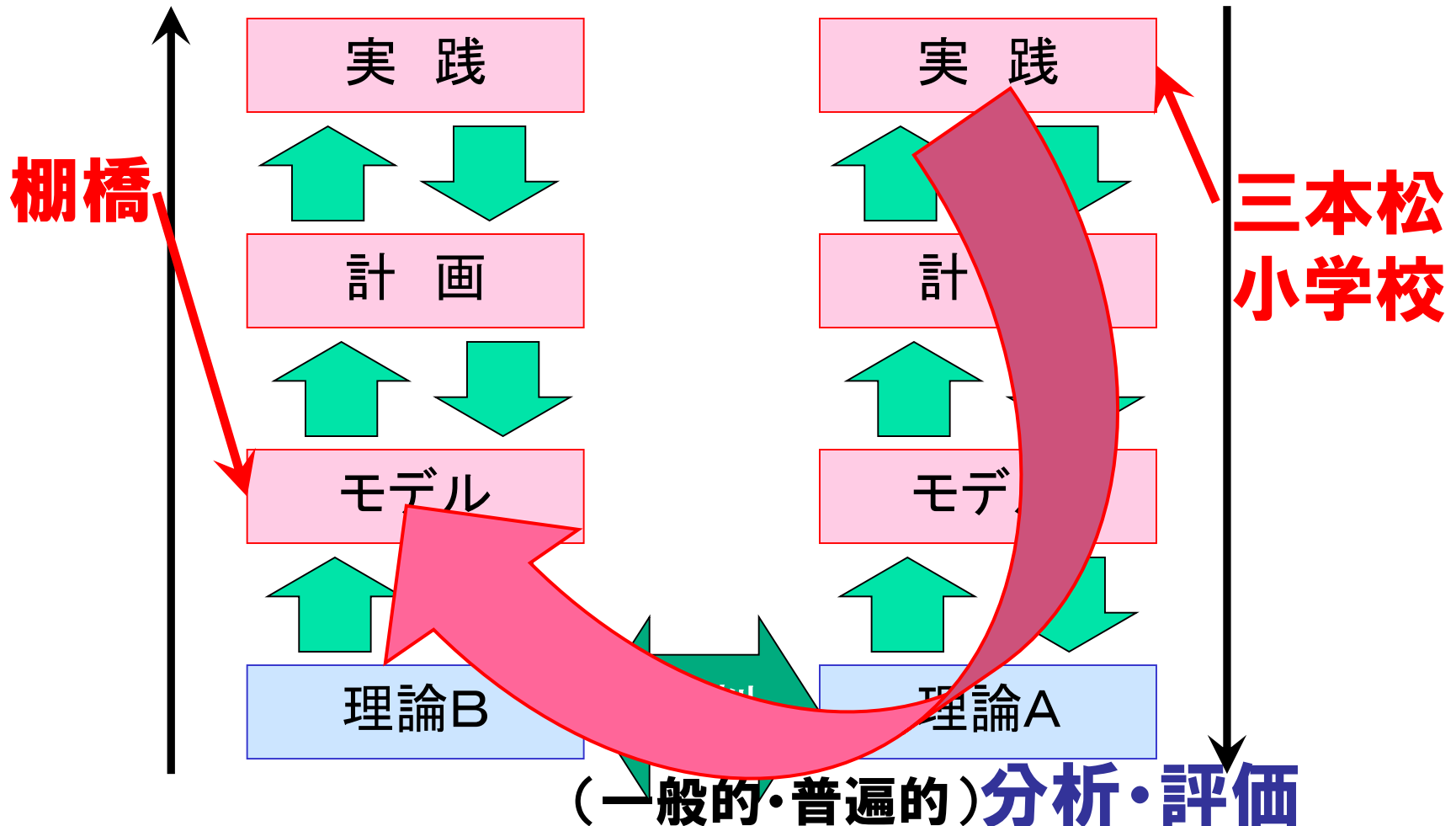
- 向山周慶の**砂糖づくりの経緯**とその**優れた技術**
- 向山周慶の砂糖づくりに象徴される**商品経済**への移行

3. 方法は、行為の意味や価値への共感から、行為が賞賛される理由の資料分析に移す

- 物語化(劇・紙芝居), 評価の聴取→**歴史的意義の理解**
- 財政の分析, 農業書 of 思想比較→**社会変動の説明**

教科＝社会科の理念・目的にもとづいて、
（一元的な態度形成）」に代わる
（本質的な認識形成）」の有意性を説く

開発・創造（個別的・一回的）



III 授業改善の方法・手続きー谷の場合ー

1. 導入部は、子どもの発表から始めるのではなく、 教師の解説に代える

- 向山周慶と砂糖づくりの事実について紹介

2. 展開部は、中心概念を確認した上でMQを提示 → 作業課題と回答のフォーマットを与える

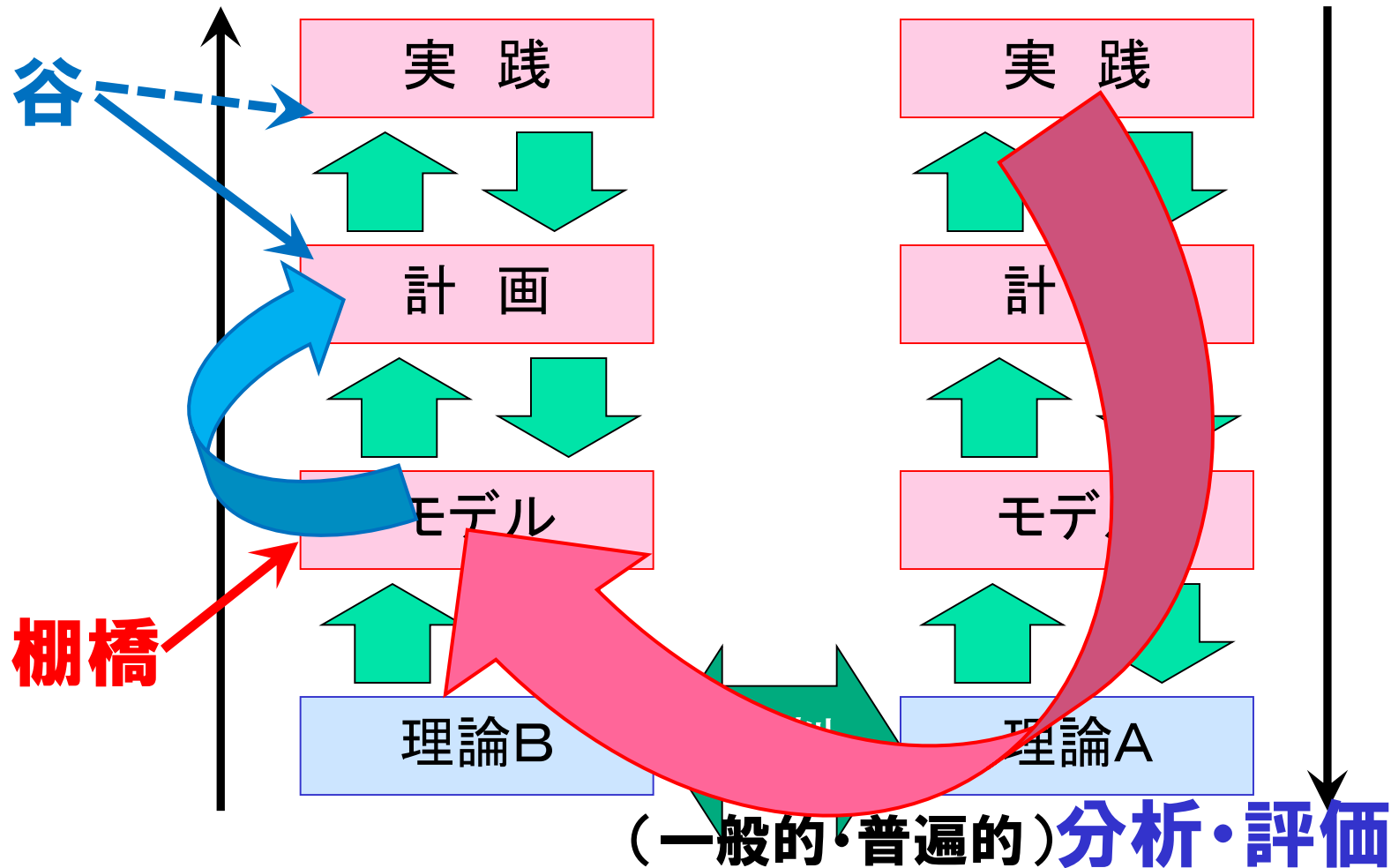
- 当時の「自給自足」とはどのようなことか、調べなさい。
辞典やインターネットで調べなさい
- 讃岐での砂糖作りの広まりは、「自給自足の社会」を
「〇〇な社会」に変化させたと考える、その理由は...

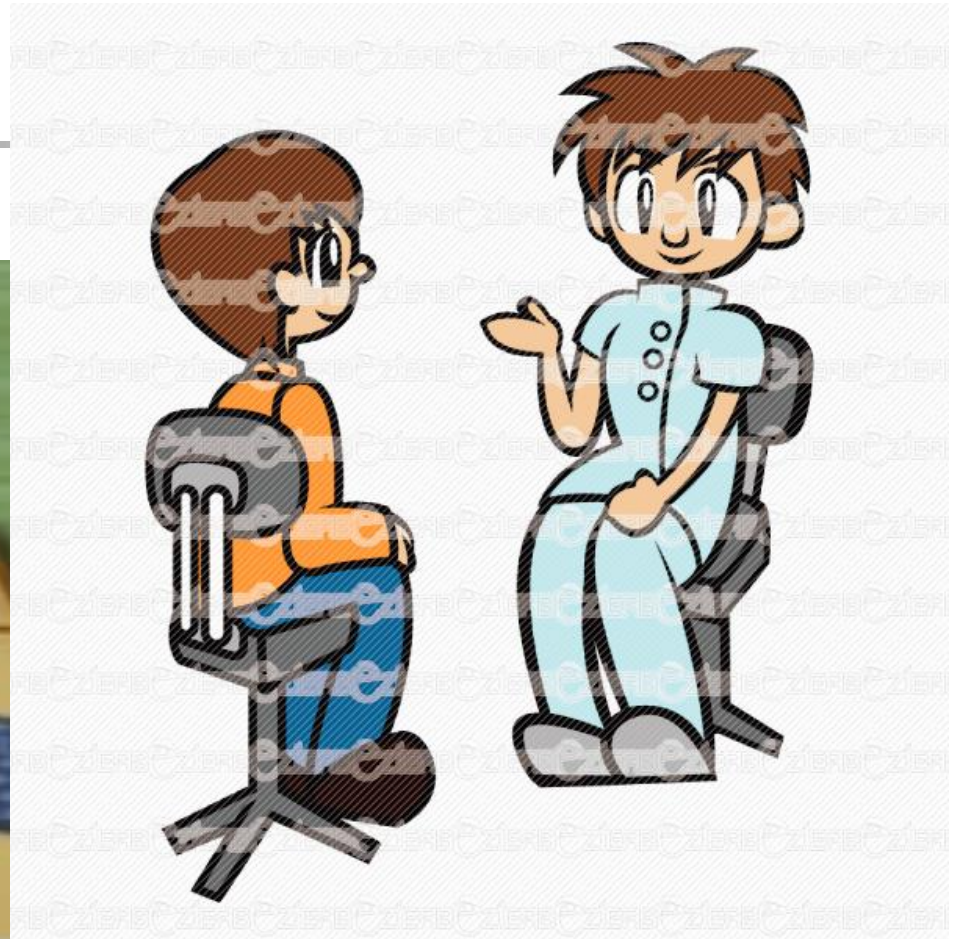
3. 終結部は、MAをまとめ、応用をはかる

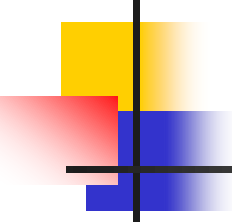
- 「阿波の藍」はどうだろう、阿波はどう変化しただろう

目標に準拠した合理的な代案づくりから、
ある状況下で効果を発揮する代案づくりへ

開発・創造(個別的・一回的)







- 内在的な批判・改善

技を問う

授業者が掲げる目標を達成する手段(内容・方法)に認められる課題を指摘し、代案を提案する

→発問とその配列, 教材とその提示, 知識とその構造, 知識の指導法, 学習形態...などの修正

- 外在的な批判・改善

志＝哲学を問う

授業者が掲げる目標で指導したときに予期される課題を指摘し、もっと意義が高い目標と内容・方法を提案する



協働＝同僚性を基盤にした専門性の向上



本日の概念6

授業研究(Lesson Study)

教師集団で授業を観察したうえで、その成否や課題を
集団で**省察＝リフレクション**し、改善していく協働的な
研究。教師の専門性向上の場。

- 
- (1) 目標とその実現方法＝工夫，成果の省察...授業者自身
 - (2) 実践の内在的な批判・改善...**参観者**＋指導助言者
 - (3) 実践の外在的な批判・改善...参観者＋**指導助言者**



授業者のワザと思想，両方に学び
改善に至るかが，成否のツボ。
How to? だけでなく，Why/What?
を問う協議の場としたい



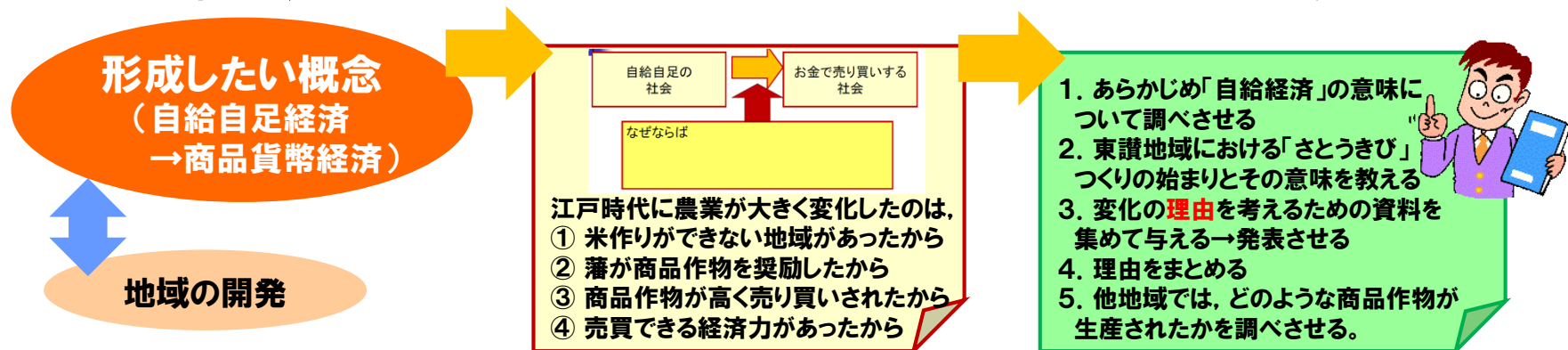


本日の概念6

逆向き設計論(ウィギンズ, マクタイ)

はじめに子どもの到達点＝ゴールを明確にした上で、評価と指導をつくったならば、単元は首尾一貫する。

- (1) 求められている授業の成果を明確にする...目標
- (2) 成果を材料と規準を決定する...評価の対象・方法
- (3) 成果を表出させる学習過程を計画する...小単元と授業



「棚橋・指導案2」では、子どもの学習成果を表現させる場とプロセスの
の設定が不十分。だから「谷プラン」が要求された